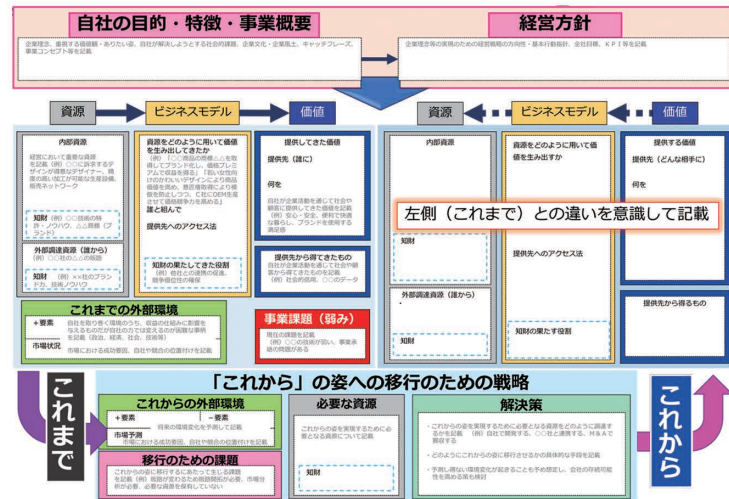
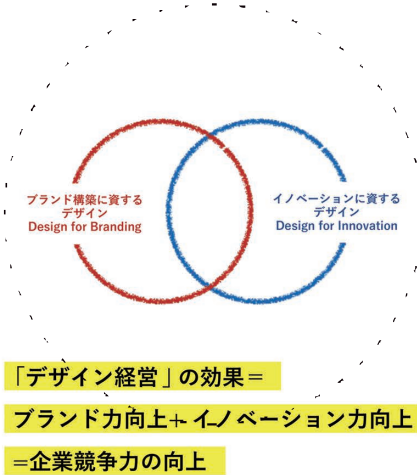


経営をデザインする

～ 経営デザインシート ～

将来を構想するための思考補助ツール「経営デザインシート」



2019年8月9日(金) 19:00～21:00

大阪デザインセンター「SEMBA」

参加費：500円（ワンドリンク付）



スピーカー：

内閣府知的財産戦略推進事務局 参事官補佐
下 萩原 勉（しもはぎはら つとむ）氏

2000年 東京大学工学部 卒業。同年 株式会社日立製作所知的財産本部 入社。
2017年10月より現職。弁理士。

今回のSEMBAサロンは、デザインを企業価値向上のための重要な経営資源として活用する「デザイン経営」をより理解するために、内閣府知的財産戦略推進事務局 参事官補佐の下萩原 勉さんに、自社や事業の将来を構想するための思考補助ツール「経営デザインシート」についてお話しいたします。

良いものを作れば売れていた時代から、新技術・新製品でも選ばれないと売れない時代になりました。このような現代において、これまでの価値を生み出す仕組みを把握し、ニーズやウォンツに訴求できるこれからの価値を生み出す仕組みを構想すること、すなわち「経営をデザインする」ことが重要です。そのため、事業を構想するための思考補助ツール（フレームワーク）として「経営デザインシート」をご紹介します。

当日は、参加者の皆様と意見交換や、ご提案などを受付させていただきたいと思います。ご関心のある方は、どなたでもぜひお気軽にご参加ください！

「デザイン経営」の定義

「デザイン経営」とは、デザインを企業価値向上のための重要な経営資源として活用する経営である。

それは、デザインを重要な経営資源として活用し、ブランド力とイノベーション力を向上させる経営の姿である。

アップル、ダイソン、良品計画、マツダ、メルカリ、AirbnbなどのBtoC企業のみならず、スリーエム、IBMのようなBtoB企業も、デザインを企業の経営戦略の中心に据えており、

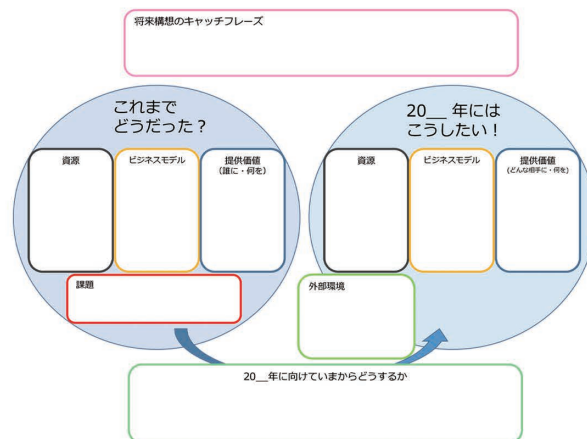
「デザイン経営」の実践企業・成功企業ということが言える。ここで、「デザイン経営」と呼ぶための必要条件は、以下の2点である。

- ① 経営チームにデザイン責任者がいること
- ② 事業戦略構築の最上流からデザインが関与すること

経済産業省・特許庁「デザイン経営」宣言より
(<https://www.meti.go.jp/press/2018/05/20180523002/20180523002-1.pdf>)

「経営デザインシート」とは

環境変化に耐え抜き持続的成長をするために、自社や事業の「これまで」の理解に基づき「これから」を構想するための思考補助ツール（フレームワーク）。

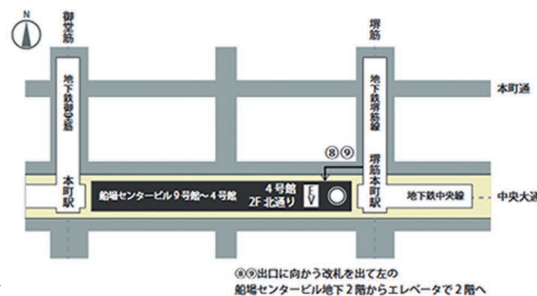


内閣府 知的財産戦略推進事務局「経営デザインシート」より
(https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/keiei_design/siryou01.pdf)

日時：2019年8月9日(金) 19:00～21:00 後半は懇親会

会場：大阪デザインセンター「SEMBA」

大阪府中央区船場中央2-1-4-213 船場センタービル4号館2階
(地下鉄「堺筋本町駅」真上 ⑧⑨出口に向かう改札を出てすぐ)



参加費：¥500（ワンドリンク付）※大阪デザインセンター賛助会員は無料

主催：一般財団法人大阪デザインセンター／協力：大阪デザイン団体連合（USD-O）

お申込みは、ウェブサイト、メール、FAX、お電話にて

一般財団法人大阪デザインセンター <https://www.osakadc.jp>

odc@osakadc.jp tel: 06-6615-5571 開館時間：10:00～18:00（土・日・祝日は休館）

FAX 06-6615-5573

氏名

所属

TEL

MAIL

SEMBAサロンとは・・・

月に1～2回、金曜日の夜に開催される交流会。

毎回違ったテーマのデザイントークや、ミニワークショップ、懇親会など、新しいネットワークづくりにも役立ちます。ワンドリンクを飲みながらのざっくばらんな情報交換の場になっておりますので、ぜひ、お気軽にご参加ください！